

Art

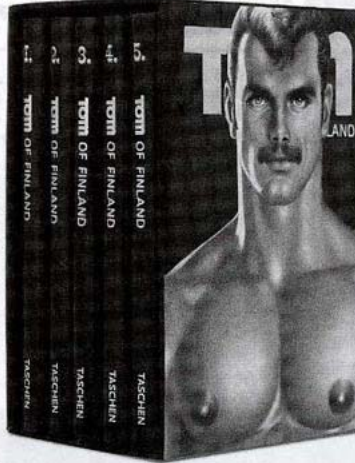
「僕は、登場人物たちが、いつも誇りを持ってハッピー・セックスをしているように描いています。」

--- Tom of Finland

編集：Dian Hanson 発行/TASCHEN  
仕様：970 X 140 mm / 5巻組/スリッケース入り  
計960p / 6,195円 / テキスト：英・仏・独語  
限定300部

50年代~70年代にかけて全世界のゲイを魅了したアメリカのゲイ・アートの巨匠、トム・オブ・フィンランド。その彼の限定コミック・コレクションがタッシェン・ジャパン<sup>®</sup>より、8月下旬に発売される。

「Cock-Hungry Cops」、「Punishment」、「Greasy Rider」、「Sex on the train」など、未公開のものを含め、全5巻、計26のストーリーで構成されるコレクターズ・アイテム。日本で限定300部のみの発売だ。



『Tom of Finland The Comic Collection』TASCHEN



トムの強烈なエロティック・アートをコレクションする「トム・オブ・フィンランド財団」の理事長のダークさんは、トムが元氣だった頃、恋人だった方だ。日本で最初にゲイ雑誌を創刊したパイオニアとして、ぼくを財団の名誉理事にしてくれた。トムが好んで描いた若者は、粗野で荒々しいマッチョのカウボーイ、兵隊、水兵、労働者だ。イレズミと革ジャンでオートバイを乗り廻す若者たち。ぼくは二度、ロスのトムの館を訪れた。扉を開けると、トムが「やあ!」と手を上げて現れてくるのではと思っぐらい、トムが生活していた当時のままで残されている。確かに室内は、黒のジャンパー、ブーツ、ベッドも革でトムのイラストそのものだ。しかし、各部屋の照明はアール・ヌーボー、アール・デコの時代のセンスのいいものばかりが使われている。

今の若者はトムの名前も作品も知らないかもしれないが、トムの男絵が永遠に輝きを失わないことは作品を見ても分かるだろう。(文/伊藤文学 2004年11月号本誌より抜粋転載)